



9月
6日

「還り雛」展示会～故郷に還ろう～



東日本大震災の被災者へ祈りこめ 1600体のお雛様
東日本大震災の甚大な被害に心を痛め、行方不明者の帰郷を願って一人の女性が始めて「還り雛」箱根勝手に応援隊として全国に広がっている還り雛の展示会が中山道守山宿のアートスペースで開かれています。現在も行方不明の被災者が2552人いることから、同数の還り雛を作る目的で活動を続けています。好評につき展示は11月30日(土)まで延長しています。

9月
6日

祖父母お招き会



敬老の日にちなんで 祖父母と園児が 手遊びなどで交流
吉身保育園では敬老の日(9月16日)にちなんで、一足早く祖父母お招き会を開き、離れて暮らすおじいちゃんおばあちゃんと園児が歌やおもてなしをしたり、一緒に手遊びなどをして交流しました。このうち1歳児のクラスでは先生の歌に合わせて「抱っこや高いたかいをするなどしてふれあいました。交流の最後には園児から小物入れのプレゼントが手渡されました。

9月
14・15日

守山市いけばな展



文化協会芸術祭参加 流派や年齢を超え 百点以上の作品並ぶ
池坊、小原流、こどもいけばな教室など市内で生け花をたしなむ人たちが流派や年齢を超え100点以上の作品が一堂に発表されました。今回は「令和をいける」をテーマに、菊を使った生け花を発表。来場した市民らの目を楽しませています。市文化協会芸術祭に参加している生け花展で、出展者同士も互いの作品を鑑賞して交流を深めています。

9月
7日

トンボ観察会



トンボを通じて 環境の違いを学ぶ
もりやま芦刈園でトンボ観察会が開かれました。牛島 和広さん(株式会社ラージ)からトンボの捕り方などの指導を受け、小学生を含む15人の参加者は園内の小川やため池、草むらなどでトンボ捕りに熱中しました。水環境の違いで生息するトンボは異なると言われ、イトトンボやギンヤンマなど6種類のトンボを捕獲。最後は、トンボの標本作りにチャレンジしました。

守山市の人口
令和元年8月31日現在 (前月比)

人口	83,516	(+ 37)
男	41,246	(+ 43)
女	42,270	(- 6)
世帯数	32,524	(+ 40)

双眼鏡
我がよき友、よ言いたいことがある。まず反応が大袈裟すぎる。私にとっては何気ない話題のつもりが、君に話すと大きな話題になる。▼また、君は頑固だ。私が車で母の迎えを待つ時、どれだけ断つても一緒に待とうとする。それなのに母の迎えが着いた途端、一緒に帰ろうと誘っても、君は一人で歩いて自宅へ帰ってしまう。▼それから「いね」の基準が低い。明日に備えて早く寝るだけでも、「すいね」と君は言う。▼でも知っているかな? 私の小さな経緯が君に話した途端に、虹彩を放つまで新しい体験になることを。車で母の迎えを待つ時、夜遅くても君と一緒に安心できることを。ちよっとしたことを「すいね」と褒めてもらえると嬉しくなることを。お互いまだまだ先輩方の足元にも及ばないけれど、これからも切磋琢磨しながら頑張ろうね。(心)